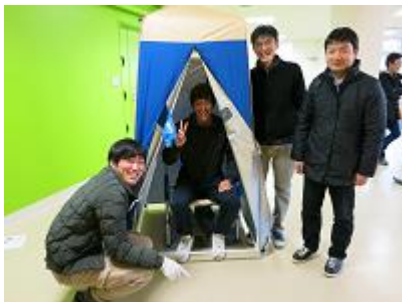


## 平成25年12月1日消防訓練の実施報告

### 1. 部分訓練について

訓練に先立ち、防災等危機管理委員長 隈本先生より「地震はいつ何時起きるか分かりませんので、こうした訓練を繰り返すことが重要です」とご挨拶がありました。

訓練には教員 23 人が参加し、レスキューボードとキャリーフを使い担架の使い方を訓練し、災害用トイレやマンホールトイレ、ジャッキ、発電機等の避難所資機材の使い方などを習得しました。



### 2. 総合訓練について

総合訓練は地震時(火災を含む)の自衛消防隊の対応行動を訓練するものです。教員と職員の混合チームを2班編成し、さらに各班の通報連絡班、初期消火班、避難誘導班、安全防護班、応急救護班にわかれて地震が起きたときの対応行動について打合せを行いました。訓練参加者は専任教員 22 人、専任職員 26 人、専門職員 17 人。

訓練は「授業期間中の平日 15 時頃、震度 6 強の地震が発生した」ことを想定し、緊急地震速報を合図に訓練を開始。まずは全員が安全体勢をとり、本部へ集合。各班に分かれ、建物被害状況の確認、安否確認、要救助者やエレベーター閉込者の救出、最終的に本部の指示で中庭に避難誘導するといった訓練をしました。また、学食で発生した火災の、消火器・屋内消火栓を使用した消火活動と防火区画の形成と進入阻止といった訓練をしました。



緊急地震速報が流れ、安全体勢をとる



本部を設置(N棟1階)



通報連絡班(館内放送を行う)



避難誘導班(避難経路確保と安否確認)



安全防護班エレベーター閉込者の救出



応急救護班(負傷者の救出)



心配停止で心臓マッサージを試みる



初期消火班(屋内消火栓で消火活動)



安全防護班(防火区画の確認と進入阻止)